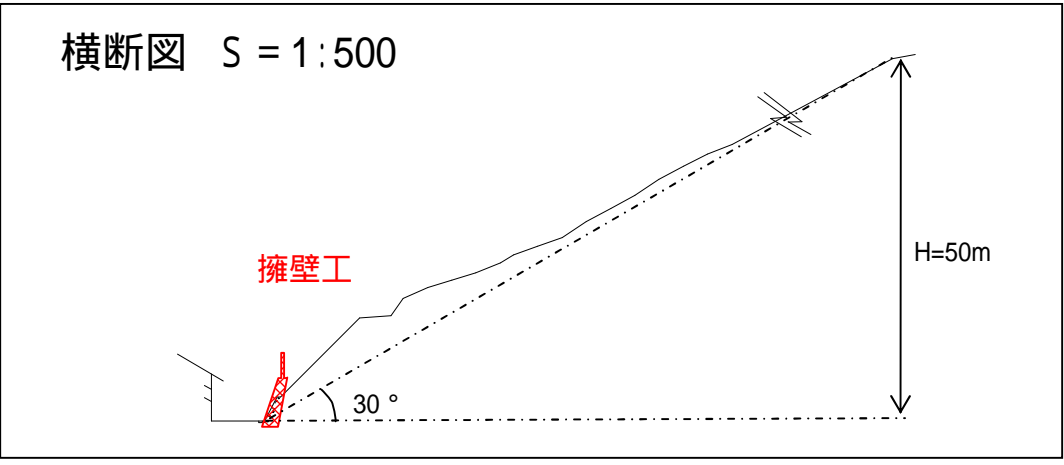
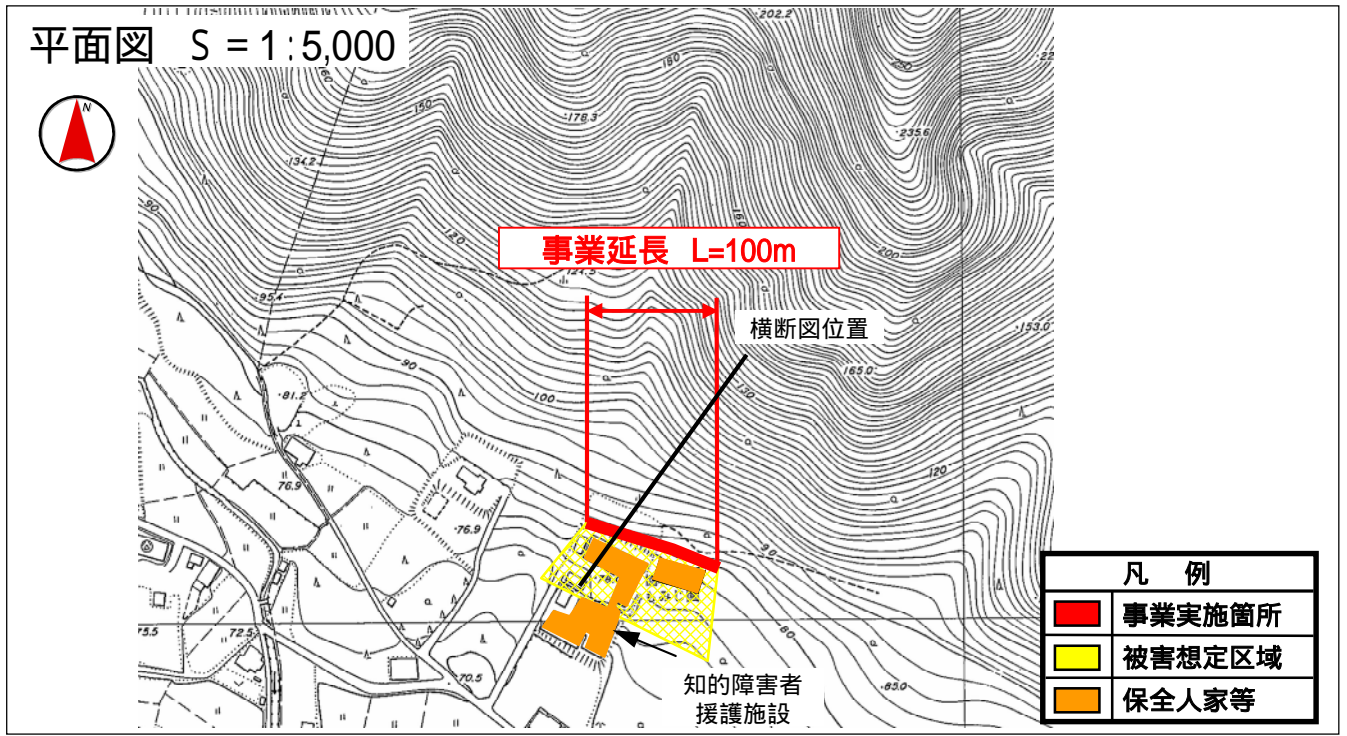
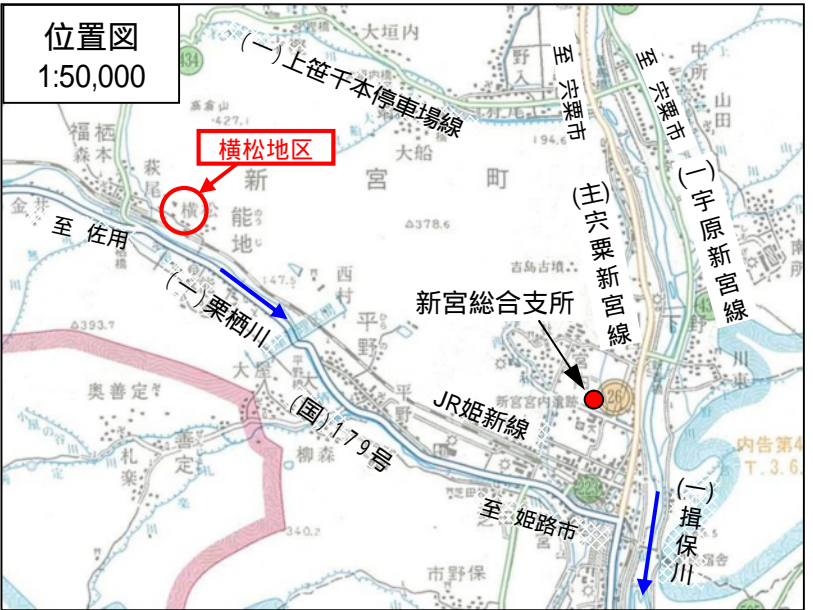
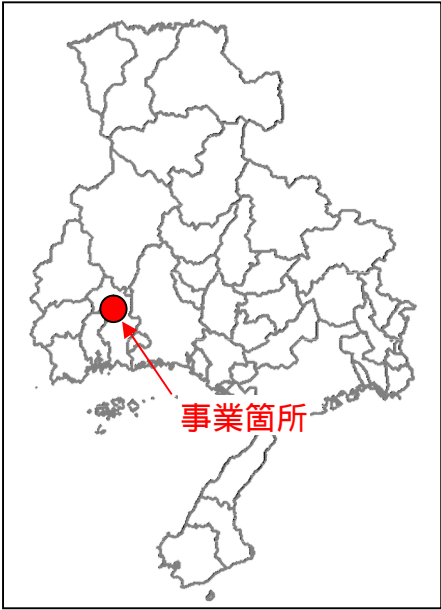


投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 松本 正利 (鵜崎 尚夫)	内線	4459 (4467)
------	-----	---------------------	-------------------------	----	----------------

事業種目	急傾斜地崩壊 対策事業	事業名	事業区間	総事業費	1.0 億円
		急傾斜地崩壊対策 よこまつ 横松地区	たつの市新宮町 のうじ 能地	内用地補償費	- 億円
所在地				着工予定 年 度	完成予定 年 度
新宮町能地				H23	H26
事業目的			事業内容		
急傾斜地崩壊による災害の防止 当地区は斜面崩壊の危険性が高く、急傾斜地崩壊危険箇所となっている。斜面下部には知的障害者援護施設があるため、防災工事を行い、地域の安全・安心な暮らしを支える。			急傾斜地崩壊対策事業 擁壁工 L = 100m 〔負担割合 国 : 47.5% 県 : 47.5% 地元 : 5.0%〕		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 〔地区の状況〕	<ul style="list-style-type: none"> ・ たつの市新宮総合支所から西約3.0kmに位置する急傾斜地崩壊危険箇所。 ・ 斜面は、表層崩壊跡や転石がある危険な状態。 				
〔保全対象等の状況〕	<ul style="list-style-type: none"> ・ 延長100m、幅50mの被害想定区域で、崩壊した場合の影響は大きい。 ・ <u>知的障害者援護施設(災害時要援護者施設)</u> 				
(2)有効性・効率性 〔効果〕	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成20年度に土砂災害警戒区域を指定済みであり、警戒避難体制の整備によりソフト対策が進められている。これに加え更にハード整備により土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。 				
〔事業執行環境〕	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事予定箇所付近には私道があるため、工事用進入路に問題が無いことから円滑な事業執行が可能。 				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 斜面の改変を最小限にとどめ、既存斜面の緑を残し、掘削法面の緑化を図るなど環境保全に努める。 				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保全対象には、災害時要援護者施設である知的障害者援護施設があり、早期着手に対する地元要望も強い。 <p>以上より、H23年度に事業着手し早急な対策が必要である。</p>				



箇所名	横松地区
-----	------